

## 情報公開文書

研究の名称	等高線を用いた OPLL 骨化巣の立体解析—骨化傾斜角度と脊髄症発生のメカニズム—
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	学術研究部医学系 整形外科・運動器病学 教授・川口善治
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 富山大学附属病院に受診された OPLL 患者様</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 頸椎後縦靭帯骨化は、時に重篤な神経障害を引き起こす難病です。この骨化形態については、臨床的に CT を用いて 2 次元的に捉えられていましたが、これを 3 次元的に構築することが最近の研究で容易に可能となってきました。</p> <p>今回の研究は、OPLL 骨化巣の 3 次元的立体像に対して等高線を用いて骨化巣の幅と急峻さを検討し、神経症状の出現に関する骨化巣の特徴を明らかにすることが目的です。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 2029 年 3 月 31 日までの電子カルテ内の検査データ、診療記録、単純 CT 画像等、診療により取得した情報を用いて解析します。</p> <p><b>【研究期間】</b> 2024 年 7 月 25 日～ 2029 年 3 月 31 日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 整形外科学に関する学会、雑誌にて公表します。研究結果の公表の際には個人情報を含まないよう十分に配慮いたします。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	電子カルテ内の検査データ、診療記録、単純 CT 画像等、診療により取得した情報  共同研究機関（岩手大学）への情報の提供有（個人が特定される情報は含まれません）
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 山本 善裕
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学 学術研究部医学系 整形外科・運動器病学 川口善治
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7353 FAX 076-434-5035 E-mail <a href="mailto:infortho@med.u-toyama.ac.jp">infortho@med.u-toyama.ac.jp</a>  担当者所属・氏名 富山大学附属病院 整形外科 牧野紘士